

2025年度 愛知学泉大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
233141118	実習指導 Nutrition Teaching Guidance	西 彰子			1	選択	4前期

科目の概要

DP2に記載している疾病・疾病予防・食育に関する専門知識・技能を身につけ、豊かな食生活と健康を創造することができる管理栄養士を育成する過程を通して、DP1の建学の精神、社会人基礎力、pisa 型学力を修得し、職場と地域の人々と協働して課題を解決しようとする態度を身に付けます。また、これらの学修を通してDP3にあるように自立した社会人として、常に自己研鑽に取り組み、自らの可能性を高めて社会に貢献することができる基礎を築きます。

実習指導は、「学校栄養指導論Ⅱ」を踏まえ、栄養教育実習を円滑かつ効果的に実施するために、栄養教諭として身に付けるべき専門知識と技術の統合を図るものです。また、栄養教諭の教育実習終了後には、実習の反省・問題点の整理を行い、報告会を実施することにより、今後の課題を明確にし、教育実習の体験を児童生徒の豊かな食生活と健康を創造できる栄養教諭を目指したいという意欲の向上につなげていきます。この科目は「教職実践演習」を修得する基礎となります。

学修内容	到達目標
① 教育実習の意義や目的を理解し、教育実習生としての心構えをする。 ② 実習受け入れ校と必要事項を打ち合わせし、実習生としての自覚を高める。 ③ 指導案の作成方法など、実習に必要な知識と技術の修得をしようとする。 ④ 教育実習の成果と課題をまとめ発表する。 ⑤ あらためて栄養教諭の職務について考える。	① 教育実習の意義や目的を理解し、教育実習生ではあるが子どもにとっては教員であるという自覚をもつことができる。 ② 実習受け入れ校と打ち合わせた必要事項を活用して、実習生としての自覚を高めることができる。 ③ 子どもの食の課題を抽出し、その課題を解決するための指導案を作成できる。 ④ 教育実習を反省し、成果と課題をまとめて発表し、自己の課題と解決策を考察できる。 ⑤ 教育実習の経験から栄養教諭の職務について考え、栄養教諭になろうとする意欲を高めることができる。

学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素

学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例

前に踏み出す力	主体性	栄養教諭として働いている姿を思い描きながら、主体的に取り組む。
	働きかけ力	
	実行力	教育実習では受け身にならず、意欲的に前へ出ようとする態度を身に付ける。
考え抜く力	課題発見力	教育実習後に自分自身の課題を見極め、さらなる向上を目指して、知識および技術の習得に励もうとする。
	計画力	
	創造力	理想とする栄養教諭像を創造し、それに向け積極的に知識・技術を身に付けようと行動できる。
チームで働く力	発信力	教育実習で担当する子どもたちに対して、こうなってほしいという強い思いを抱き、それを子どもに効果的に伝えようとする。
	傾聴力	学級担任や学年主任に指示を仰ぎながら、クラスの実態把握をしたり、先生方から意見をいただいたりして実り多い教育実習にしようとする。
	柔軟性	
	状況把握力	
	規律性	教育実習のための規律性や社会的マナーを身につける。
	ストレスコントロール力	

テキスト及び参考文献

テキスト：プリント 「＜栄養教諭＞教育実習の手引き 愛知学泉大学」 による授業
 参考書：「食に関する指導の手引き 第2次改訂版」（文部科学省）東山書房1200円 「栄養教諭のための学校栄養教育論」（笠原賀子）医歯薬出版2800円 「栄養教諭＜第2版＞」（金田雅代）建帛社2400円

他科目との関連、資格との関連

他科目との関連：実習指導は、教職入門 教育原理 教育心理学 教育制度論 生徒指導論 教育方法論 特別支援教育論 総合的な学習の時間の指導法 教職特別講座 道徳教育の理論と実践 教育相談 特別活動の指導法 教育課程論 学校栄養指導論Ⅰ 学校栄養指導論Ⅱの知識を活用する。また、同時期に実施される栄養教育実習を有意義なものとするための科目であり、さらにその後に履修する 栄養教育実習 教職実践演習の基礎となるものである。

資格との関連：栄養教諭一種

学修上の助言	受講生とのルール
・小学生について理解を深めておく。できたら、家庭教師やボランティアなど実践をとおした理解が望ましい。 ・教職科目をはじめ学校栄養指導論Ⅰ、Ⅱについては熟知しておく必要がある。	・栄養教諭を志した理由を明確にし、意欲を持ち続けてほしい。 ・学校教育現場を常に想定しながら、受講してほしい。 ・遅刻3回を欠席1回として扱う。

【評価方法】

評価対象	評価方法		評価の割合	到達目標			各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント	
学修成果	学期末試験	筆記（レポート含む）・実技・口頭試験	30	①	✓		・ 教育実習の意義や目的の理解 ・ 教育実習生のあるべき姿についての理解 ・ 教育実習についての一般的注意事項の理解 知識の獲得（栄養教諭の教育実習に必要な知識の獲得）100%	
				②	✓			
				③				
				④				
				⑤				
	平常評価	小テスト	0	①				
				②				
				③				
				④				
				⑤				
		レポート	0	①				
				②				
				③				
				④				
				⑤				
		成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）	60	①	✓			・ 時間を守った5分間のプレゼンテーションである（10点） ・ パワーポイントを使用し、写真やグラフなどを使った効果的なプレゼンテーションである（10点） ・ 教育実習の様子や子どもの食の課題を抽出した指導の様子を述べることができる。（10点） ・ 子どもの言葉やワークシートなどで授業の成果を述べることができる。（10点） ・ 教育実習の課題とその解決策を考察できる。（10点） ・ 栄養教諭への想いを述べることができる。（10点） 知識の活用（児童生徒の食の課題の抽出等）50% 知識の解決（研究授業後の児童生徒の行動変容等）50%
				②	✓			
				③	✓			
				④	✓			
				⑤	✓			
学修行動	社会人基礎力（学修態度）	10	①	✓		（主体性）予習が教科書レベルで実行できている。 （実行力）予習が教科書以外の情報源から修得する行動ができている。 （課題発見力）本時の授業の目標を達成するために不足している知識・技能を抽出し、その内容について学修ができている。 （創造力）本時の授業の目標を達成するための課題を解決するために修得した知識・技能を最大限に活用して、提示した課題を解決することができている。 （発信力）本時の授業の目標を達成するための知識・技能について、分かりやすく整理してまとめたことを記述（図表含む）することができている。挙手の回数については、回数を得点化する。 （傾聴力）本時の授業で提示した質問項目について、学生間で意見交換をします。相手の意見が分かりにくい、疑問について質問をすることができる、また意見を引き出すコメントができている。 （規律性）授業終了時に【学修行動特性評価】シートを提出することができている。		
			②	✓				
			③	✓				
			④	✓				
			⑤	✓				
			総合評価割合		100			

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
上記の評価の観点による評価で、合計点が80点以上とする。栄養教諭への思いと教育実習の成果が述べられ、効果的なプレゼンテーションで発表できていること。 S（秀）は、評価の観点による評価が90点以上とする。栄養教諭への思いと教育実習の成果が子どもの言葉などで述べられ、効果的なプレゼンテーションで発表できていること。	上記の評価の観点による評価が70点以上とする。教育実習の成果が述べられ、効果的なプレゼンテーションで発表できている。

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間 (分)	能力名
1	教育実習の意義と目的、教育実習に当たっての心構えについて考える	手引きによる講義 課題のフィードバック グループディスカッションと発表 ロールプレーイング google classroomによる課題の提出、質問の受付	臨地実習の意義と目的を理解し、教育実習に対する心構えができる	予習：手引きP1～2の熟読、PCRシート 復習：PCRシートによる手引きP1～2の授業内容のまとめ	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
2	事前挨拶について電話のマナー、教育実習前につかんでおくべき情報について話し合う	手引きによる講義 課題のフィードバック グループディスカッションと発表 ロールプレーイング google classroomによる課題の提出、質問の受付	マナーを守った電話対応で必要な情報を得ることができる	予習：電話のマナー、教育実習前につかんでおくべき情報の確認、PCRシート 復習：PCRシートによる情報の確認の授業内容のまとめ	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
3	新型コロナウイルス感染症対策として学校給食や学校生活でどのような予防対策が取られているのかを知る。	令和4年のガイドラインによる講義 課題のフィードバック グループディスカッションと発表 実習事例の紹介 google classroomによる課題の提出、質問の受付	感染症対策を理解し、学校給食や学校生活で児童生徒に指導ができる。	予習：新型コロナウイルスガイドラインの予習課題 復習：予習課題の見直し、PCRシートによる授業内容のまとめ	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
4	教育実習における一般的注意の確認 勤務上の注意事項の確認 教育実習記録の記入について 欠勤届について知る	手引きによる講義 課題のフィードバック グループディスカッションと発表 実習事例の紹介 google classroomによる課題の提出、質問の受付	教育実習における一般的注意や勤務上の注意事項、教育実習記録の記入や欠勤届について説明できる	予習：手引きP2～P4、P8～9熟読、PCRシート 復習：PCRシートによる手引きP2～P4、P8～9の授業内容のまとめ	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
5	事前準備と挨拶や礼状について注意点を話し合う	手引きによる講義 課題のフィードバック グループディスカッションと発表 礼状の書き方演習 google classroomによる課題の提出、質問の受付	正しい服装と身だしなみ、礼儀作法、言葉使い、守秘義務、マナー 実習ノートの記述や礼状を書くことができる	予習：服装、事前準備の確認、PCRシート 復習：PCRシートによる服装、事前準備の確認についての授業内容のまとめ	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
6	食に関する指導の研究について 研究を進めるため、次のポイントについて話し合う 実態把握、教科等の指導、個別指導、連携調整、その他	講義 課題のフィードバック 手引きによる講義 グループディスカッションと発表 google classroomによる課題の提出、質問の受付	実態把握、教科等の指導、個別指導、連携調整、その他のポイントについてどのように調査研究したらよいか説明できる	予習：手引きP5～P6熟読、PCRシート 復習：PCRシートによる手引きP5～P6のまとめ	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
7	学習指導案の立て方について 教育実習校で課題として示された学習指導案を作成する	講義 課題のフィードバック 手引きによる講義・演習 グループディスカッションと発表 google classroomによる課題の提出、質問の受付	教育実習校のクラスの食育上の課題を把握し、その課題を解決するための学修指導案を作成することができる	予習：手引きP7～P8熟読、PCRシート 復習：PCRシートによる手引きP7～P8のまとめ	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
8	給食時間の指導について 偏食等問題のある子供への言葉かけの方法を話し合う	手引きによる講義 課題のフィードバック ロールプレーイング グループディスカッションと発表 google classroomによる課題の提出、質問の受付	給食時間における指導の特質について理解し、偏食等の問題のある子供へ言葉かけをすることができる	予習：食に関する指導の手引きP200～204熟読、PCRシート 復習：食に関する指導の手引きP200～204のまとめ	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間 (分)	能力名
9	給食時間中の事故防止について 窒息事故に対する処置とノロウイルスの特性を理解した処置について話し合う	講義 課題のフィードバック 手引きによる講義・演習 グループディスカッションと発表 google classroomによる課題の提出、質問の受付	給食時間中に起きると想定される窒息事故、ノロウイルスに対する処置ができる	予習：食に関する指導の手引きP204～206熟読、PCRシート 復習：食に関する指導の手引きP204～206のまとめ	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
10	給食当番の指導について 協力の大切さと給食当番の衛生管理について考える	講義 課題のフィードバック 手引きによる講義 ロールプレイング グループディスカッションと発表 google classroomによる課題の提出、質問の受付	給食当番に対して、協力の大切さと衛生の観点で指導ができる	予習：食に関する指導の手引きP208～P211、PCRシート 復習：食に関する指導の手引きP208～211のまとめ	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
11	給食時におけるクラスの衛生管理について、給食当番以外の児童に対する指導はどのようにしたらよいか考える また、食事のマナーについて指導方法を考える	講義 課題のフィードバック 手引きによる講義・演習 グループディスカッションと発表 google classroomによる課題の提出、質問の受付	給食時における衛生上の指導ができる 食事マナーの指導ができる	予習：食に関する指導の手引きP209～213、PCRシート 復習：食に関する指導の手引きP209～213のまとめ	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
12～ 13	教育実習の問題点の整理とまとめをする	教育実習のまとめと報告作成 課題のフィードバック google classroomによる課題の提出、質問の受付	教育実習について以下の内容で整理しまとめることができる ・学校、学級経営について ・児童生徒理解の実践について ・児童生徒とのかかわりの中から見えた食に関する課題について ・課題解決のために実践したこと（給食時間の指導、個別指導、授業等） ・研究授業について ・教育実習の成果と課題 ・栄養教諭の職務について改めて考える	予習：オープンエデュケーション 北海道大学 こっそり修得プレゼン https://ocw.hokudai.ac.jp/playlist/suzuki01?movie_id=16638 視聴 復習：パワーポイントで発表用のスライドを作成する。授業シート	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
14	事後報告会をする	実習報告の発表 質疑応答 課題のフィードバック google classroomによる課題の提出、質問の受付	教育実習の内容を発表し、質問に答えることができる 発表を聞いて質問、コメントが適切にできる	予習：発表練習、授業シート 復習：発表者の内容を理解し、自分の実習の反省をする、PCRシート	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
15	教育実習をふり振り返り、栄養教諭として不十分な点を学修する計画を立てる。	オンデマンド配信 google classroomによる質問の受付	教育実習をふり振り返り、栄養教諭として不十分な点を学修する計画を立てることができる。	予習：教育実習の振り返り 復習：栄養教諭として不十分な点を学修する計画を立てる。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
						主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間 (分)	能力名

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力